

## 平成 29 年度 SPRing-8 ユーザー協同体 総会 議事録

日時：平成 29 年 9 月 5 日（火）9 時 00 分-10 時 00 分

場所：広島大学 東千田キャンパス（広島市中区東千田町 1-1）

出席者数：127 名

### プログラム

1. SPRUC 活動報告、2016 年度決算・2017 年度予算報告等
2. SPRUC 2017 Young Scientist Award 授賞式
3. SPRUC 2017 Young Scientist Award 受賞講演 1  
X 線時期二色性分光による電圧制御型スピントロニクスデバイスの研究  
三輪 真嗣 /大阪大学大学院
- SPRUC 2017 Young Scientist Award 受賞講演 2  
放射光 X 線で探る地球深部：地球の核組成の制約に向けて  
坂巻 竜也 /東北大学大学院

### 議事概要

#### 1. SPRUC 活動報告等（杉本庶務幹事）

- 1-1. 平成 29 年度の研究会の活動状況について、会員への研究会登録の促進を図ってきた結果、登録数が半数近くまで達したこと。各研究会のワークショップの議事録は HP で公開していること。旅費支給については、特に研究分野間の連携を図る目的での招待講演者に限った審査を実施していることが報告された。
- 1-2. 平成 29 年度予算執行状況について、今年度は、年度当初予算化していなかった秋の学校の等の実施による支出があるが、概ね、予算通り執行される予定であること。SPRing-8 シンポジウム 2017 については、ほぼ収支がゼロになる予定であるとの報告があった。
- 1-3. 分野融合型研究グループの活動について、「ナノデバイス科学」は、第 2 期に移行しプログラムオフィサーが交代すること。「原子分子生命科学」については、顧問会議での意見から分野を絞り、今後具体的なアプローチ法の検討など計画を更新していること。「分子機能性材料」については引き続き梶山顧問と相談していること。ビームタイムの効率のよい利用方法についても SPRUC から提案していく予定であること。などの報告があり、「ナノデバイス」と「実用」については、本シンポジウムでこのあと、口答発表で詳細報告があることが報告された。
- 1-4. SPRUC ビームライン高性能化検討作業部会の活動状況については、責任者の藤原先生より、昨日のパネルディスカッション時に報告があったこと。また、研究会に対して、2 回のアンケート調査を行った旨報告された。
- 1-5. 今後の活動計画について、以下の報告があった。

- ・ SPRUC の新しい人材育成の取り組みとして、9月18日～21日の日程で SPring-8 秋の学校が開催されること。
  - ・ 次期評議員選挙について、12月に評議員15名の改選選挙を実施する予定であることと会員への選挙参加の要請。
  - ・ SPRUC 特別総会が、放射光学会会期中の1月9日に開催予定であること。
  - ・ 研究会については、今年度末で第3期研究会が設置期限となる。研究会の活性化を図るため統廃合も意識しながら次期研究会を設置すること。研究会側からはアピール力のある提案をしていただきたいとの要請があった。
  - ・ 来年度 SPring-8 シンポジウム 2018 が兵庫県立大学主催で開催予定であること。
- ・ 質疑応答で、会員より、SPRUC 研究会の統廃合をどのようにして進めていくのかについての質問があり、杉本幹事より、開催したワークショップ数や議事録・報告書から個々の研究会のアクティビティを評価することも可能であるが、具体的な進め方等については今後、執行部で検討中していくとの回答があった。

## 2. SPRUC 2017 Young Scientist Award(YSA)授賞式

雨宮 YSA 選考委員長より、選考委員会(5名の選考委員による審査)での審査の結果2名の選出に至った経緯の説明があった。また、今年度は応募が少なかったことから、来年度の募集時には、より多数の推薦・応募を期待しているとコメントがあった。その後、中川会長より受賞者2名(三輪氏と坂巻氏)にそれぞれ賞状と楯が授与された。

## 3. SPRUC 2017 Young Scientist Award 受賞講演

プログラムに沿って受賞講演が行われた。

以上。